

■ 日本の外国人コミュニティ ■

トルコ人のアットホームな日本生活

Murat O. ERDEM

[ムラット・O・エルデム]

■ 企業コンサルタント

毎年8000人もトルコ人観光客が日本を訪れているが、日本に長期滞在しているトルコ人も2000人以上にのぼっている。トルコ大使館によると、日本に滞在するトルコ人は主に絨毯（じゅうたん）や宝石類の販売、レストラン経営などの自営業に従事しているらしい。トルコ料理レストランは50軒ほどあり、そのほとんどが東京エリアに集中している。東京には、トルコ産業協会やトルコ文化センター、トルコモスクもある。詳しくトルコ文化を知りたいなら、新潟県柏崎市の柏崎トルコ文化村が有名だ。

しかし、日本に大規模なトルコ人コミュニティがあるわけではない。普段は各地でばらばらに生活している。それでも、ラマダン（断食月）明けなどには人々がどっとモスクに集まり、盛大にお祝いをする。宗教行事を通じて、旧友と再会するのである。

一方、両親が長く日本に滞在するにつれて、子どもたちも日本の学校に通うことになる。現在は約250人のトルコ人の子もたちが日本の小中学校に通い、トルコ人企業家

によって設立された横浜のホライズン・インターナショナルスクールに通う子どもたちもいる。多くは日本語とトルコ語のバイリンガルだ。また、300人ほどが大学にも通っている。

歴史上、トルコと日本は親密な関係にあったと言ってよい。日本人のホスピタリティのおかげで、トルコ人は日本でアットホームに生活できている。宗教や国籍の差別はほとんど感じられない。トルコ人が日本人に自分たちがトルコ出身であるということを告げると、日本人はすぐにオスマントルコの名を出したり、トルコ・ケバブやトルコ・アイスクリームを連想したりする。

日本とトルコは天候や農産物にも共通点がある。さらにいえば言語もルーツを同じくしており、文法や語順、またいくつかの単語も似ている。日本で生活するトルコ人は、自分たちが「外国人」であることを忘れてしまいそうになるほどだ。日本人とトルコ人の交流が進み、両国の関係がますます親密になることを期待したい。

ムラット・O・エルデム トルコ出身。米ヒューストン大学ビジネス学部卒業後、東北大学で研修生として学ぶ。トルコ語、英語、日本語を話す。銀行などに勤務した後、2003年にコンサルティング会社を設立



世界最古の軍楽隊であり、吹奏楽によるマーチングの原点ともいわれるオスマントルコ軍楽隊「メフテル」。「2003年日本におけるトルコ年」に来日し、東京・青山通りなどでその勇姿を披露している 撮影：柴永文夫